

暗色雪腐病

根雪の下で被害が進行する。苗木の病弱な部分，地際の衰弱した老葉，損傷部分などから発病する。灰白色のフェルト状あるいはくもの巣状の菌糸がまとわりつき，その部分が腐敗・枯死する。

稚苗では株ごと枯死するケースが多く，乾燥に伴い枯れた針葉が落下し，主軸のみとなる。

根雪期間の延長が被害を助長する。エゾマツ，アカエゾマツ，トドマツなどに発生する。

北海道立林業試験場・緑化樹センター

